

冬山観光は、

熱い情熱を持って取り組む

質問Ⅱ雪上車で、お試し期間をどう生かす

答弁Ⅱ5日間実施で商品化を模索していく



伊東 ひさたけ 議員

- ①冬山観光については、過去に幾度も質問をした経緯がある。今議会、冬山観光についての一般会計補正予算が計上されている。予算が議決されたら、お試し期間を経て、課題を整理し、議論できるような検討委員会を設置する考えはないか。
- ②また、山荘しらすの改修工事も本年度から着手され、令和3年度から営業開始を目指していると聞か、営業再開に合わせたお試しツアーなのか。
- ③今回は、雪上車を利用し

た冬山観光の推進でということだが、今後、他の冬山観光商品を生かして成功している先進地の視察研修の実施を考えないか。

池田町長

①冬山観光の一環として冬季閉鎖期間中のUFOラインで、雪上車を借り上げてのモニターツアーを実施したいと考え、関連予算を計上した。冬山観光メニューのひとつとなる試乗調査で、ツアー後の商品化については、ソラヤマいしづち・観光協会・本川スノーパーク実行委員会など、既存の委員会を活用し、課題整理を行い商品化へ生かしていく。

②山荘しらすについては、今年度調査を行い実現可能であれば営業再開を待たずにもツアーを開催していく。

③本川地域で活用可能と考えられる取り組みがあれば視察研修も検討する。今後も、冬山観光振興につながる、様々な可能性を探っていく。

伊東議員

木の根ふれあいの森での、冬季閉鎖について、今回から、冬山観光として、

一部開放するなどの考えはないか。

また、冬山観光では、どのくらいの思いで、取り組むのか。

池田町長

木の根ふれあいの森は、これまで12月～3月中旬の間、冬季休業を行っている。指定管理者からは施設

利用者のニーズなども調査した上で冬季営業を検討したいとの意向もあるため、町としても道路凍結などの課題はあるが、実施に向けて協議する。

冬山観光については、熱い気持ちで取り組んでいく。



UFOラインの霧氷・樹氷



UFOライン